

# 令和2年度 学校評価報告書

学校名	三田市立ゆりのき台中学校
-----	--------------

## 1 学校教育目標

自立して自分の将来の夢や目標に挑戦しつづける生徒の育成  
～「命」と「心」を大切に、ひとの優しさ、温かさを実感できる学校～

## 2 今年度の学校重点目標

私たちの誇り ふるさと ゆりのき台中学校  
子ども・・・学校が楽しい、この学校が好きと思える学校  
保護者・・・通わせてよかったと思える学校  
地域住民・・・ともに歩んでよかったと思える学校  
教職員・・・勤務してよかったと思える学校

## 3 総合的な自己評価

創立29年目を迎えた本校であるが、生徒は、総じて「真面目」で「懸命」である。加えて、保護者のマナーの良さは本校の誇りである。  
学校評価アンケート（15項目）の結果、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」と回答した割合の合計（以下「肯定的評価」という。）は、生徒では13項目で、保護者では全項目で70%以上であり、「生徒指導」「教育相談」「学校行事」「開かれた学校づくり」「感染症対策」「総合」では、生徒、保護者とも肯定的評価が90%以上となった。また、「総合（学校生活は充実しているか）」については、生徒、保護者ともに昨年度より上昇し、保護者では95%と全15項目中第1位となっている。「コロナ禍」のなか、保護者の皆様の温かく厚い支援のもと、生徒が「授業」で「学校行事」で「部活動」で、主体的に学びを深め大きな成果と充実感を得たことが数字として表れていると考えられる。自由記述では、学校や先生への感謝の言葉を数多くいただき恐縮している。  
しかしながら、「進路指導」「部活動」「防災教育」では、生徒と保護者の評価に10%以上の差が生じた。「特色ある学校づくり」は、生徒、保護者ともに75%以下と低位となった。今後は課題の解決に早急に取り組むとともに、保護者の皆様と心をひとつに、組織的に学校教育を進めていく。「学校が楽しい、この学校が好きと思える学校（子どもたち）」「通わせてよかったと思える学校（保護者）」「ともに歩んでよかったと思える学校（地域）」「勤務してよかったと思える学校（職員）」を、地域の皆様とともに、目指し邁進したい。

## 4 総合的な学校関係者評価

ゆりのき台中学校の生徒の皆さんには「真面目」なイメージがある。学校評価アンケートの結果は概ね良好であり、保護者が学校に信頼をおいておられることがわかる評価結果である。特に、「総合（学校生活は充実しているか）」の評価の高さが、生徒、保護者のゆりのき台中学校への思いを象徴している。しかしながら、少数意見に耳を傾けることを疎かにしてはならない。  
昨年度に続き、「防災教育」と「特色ある学校づくり」が課題となっている。「地域防災」を核にした「特色ある学校づくり」を進めることもひとつの方策であろう。また、「部活動」も生徒の評価が比較的低位な項目である。小学6年生と接するなかで、中学校生活、特に部活動への身構えを感じる。ボランティア活動を部活動に取り入れるなど、今後の部活動の在り方についても再考が必要であろう。  
「コロナ禍」は続くが、来年度は、学習面では「タブレット」をいかに活用するか、生活面では清掃方法をどう変革するかなど、「コロナ後」の学校の在り方、5年・10年後の社会の姿をしっかりと見据え、学校教育を進めることが重要である。  
学校や地域で、中学生がいきいきと活躍する姿が楽しみである。そのために地域としてできることがあれば積極的に貢献したい。

## 5 評価結果

分野・領域	自己評価			学校関係者評価
	評価項目（取組内容）	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
人権教育	・「命」と人権を大切に、「共生」の心を育む教育の充実を図る。	・学校評価アンケートでは、肯定的評価が、生徒は90%以上、保護者は80%以上となっており、昨年度より、生徒は6%、保護者も約5%程度上昇している。 ・学校教育目標「『命』と『心』を大切に、ひとの優しさ、温かさを実感できる学校」を生徒が常に意識し、目標の達成に向けて学校生活を送ったことの成果であると考えられる。	・今年度は、「コロナ禍」のなか「防災訓練」を十分に行うことができなかった。防災教育は「命」の教育である。来年度は創意工夫しながら組織的に取り組みを強化したい。	・発達障害や障害特性について学ぶうえで、身近なことを取り上げ、「共生」教育を進めることが大切である。 ・地域防災訓練への参加や、防災リーダーを活用しグラウンドで防災キャンプを行うなど、生きた防災教育が大切である。 ・「道徳」参観など、保護者への人権啓発の機会も重要である。
	・規範意識や道徳性を育む教育を推進する。	・学校評価アンケートでは、肯定的評価が、生徒、保護者ともに90%以上となっている。 ・自由記述に、セーターの着用や髪形など、「生活のきまり（=校則）」の緩和を望む記述が多数みられた。	・「生活のきまり（=校則）」を時代に即したよりよいものにしていくため、生徒会とともに考えることにより、規範意識の醸成に努めたい。	
学習指導	・主体的に学ぶ子どもの育成を図る。	・学校評価アンケートでは、肯定的評価が、生徒は90%以上、保護者は80%以上となっているが、保護者の肯定的評価が生徒より低くなっている。 ・自由記述に「授業の進度が早い」や「試験の難易度が高い」との記述が複数みられた。	・次年度本校は、三田市教育委員会特別指定校として「情報」教育の研究を推進する。これを分かりやすい授業の開発と指導と評価の一体化に繋げたい。また、積極的な保護者への情報発信も課題である。	・「タブレット」の活用を、「主体的・対話的で深い学び」に繋げてほしい。総合的な学習、例えば修学旅行や校外学習の資料作りを始め、さまざまな授業場面での「タブレット」の活用が期待される。 ・「進路指導」については保護者の不安が十分に解消できていない。ホームページ等による更なる啓発が必要である。
	・社会的自立に向けたキャリア教育を推進する。	・今年度は、「キャリア教育」を本校の柱と位置付けた。学校評価アンケートでは、生徒の肯定的評価が90%以上あり、高学年ではさらに高い評価を得たが、保護者では80%を下回り、生徒より10%以上低くなっている。	・「キャリアパスポート」を核として「キャリア教育」の研究を校区内4小中学校で連携して推進する。また、保護者へのより丁寧で頻繁な情報発信に努める。	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化に対応した教育を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前からの11年間を見直し、ALTとICT機器を有効に活用し、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく育成することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルな視点から自分や地域の拠りどころとなる伝統文化を学ぶ機会を充実し、生徒のアイデンティティの確立を図る取り組みを推進したい。</li> </ul>	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人一人の共感的な理解に基づく生徒指導を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から気軽に相談できる雰囲気各学級で醸成するとともに、「教育相談週間」や「いじめアンケート」の丁寧な実施により共感的理解を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共感的理解に完全はない。生徒の意識や行動の変化を的確に把握し、カウンセリングマインドをもって一人一人の個性を尊重した指導を行うため、さらなる研鑽が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活のきまり」について、生徒会が先生方と話をして改正を行えたのが、子どもたちが自分たちで考えて生活を進めていんだという、大きな自信に繋がったと思う。このように生徒に任せていくことは極めて重要である。</li> <li>・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの効果は極めて大きい。毎日ずっと学校にいてほしい。また、小学校とのより緊密な連携も必須である。</li> <li>・学校に登校できない生徒に、Zoomを活用して授業を行うてはどうだろうか。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ、不登校、問題行動の未然防止と迅速かつ的確な対応を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートでは、肯定的評価が、生徒、保護者ともに80%以上となっており、昨年度より、肯定的評価が、生徒で約5%、保護者でも約2%上昇している。「命」と「心」を大切にするという基本姿勢のもと、この問題に対して、計画的かつ組織的に取り組みを進めてきた成果であると考えられる。</li> <li>・一方、自由記述に、学校のいじめ対応が不適切であるという保護者の記述が複数みられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめを絶対に許さない学校」として、「いじめガイドライン」にもとづき、未然防止と早期発見にいっそう努める。また、万が一いじめが発生した場合も、「学校いじめ対応チーム」により早期対応、解決を図る。</li> <li>・不登校については、別室登校の更なる充実と三田市適応教室「あすなる」やその他のフリースクール等との連携の強化を図りたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、保護者への支援、相談体制の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートでは、肯定的評価が、生徒、保護者ともに90%以上となっている。</li> <li>・自由記述に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの相談機会の増設を望む記述が複数みられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会、関係機関との連携のもと、専門家による相談機会の充実を図る。</li> </ul>	
信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三田型コミュニティ・スクールを基盤とする、地域とともに歩む学校づくりを推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートでは、肯定的評価が、保護者、生徒ともに90%以上となっており、昨年度よりともに上昇し、生徒では、6%程度上昇している。「臨時休校中」からホームページを中心に学校の情報をできるだけ早く正確に伝えたことによるものとする。</li> <li>・自由記述に、学校のホームページが見つらいという保護者の記述も複数みられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ホームページについては、改善を図るため、教育委員会と連携し、研究を進める。来年度は、情報伝達の手段として「タブレット」の活用も進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校重点目標で「地域住民とともに歩んでよかったと思える学校」をあげているが、学校はまだまだ地域へとけこめていない。信頼される前に地域を信頼することが大事である。</li> <li>・地域の人が自由に来られる部屋を小学校のように設け、「地域コミュニティ・カフェ」を運営するなど、地域とともに歩む学校づくりを進めてほしい。</li> <li>・中学生の力が発揮できる場が大切である。小学生への学習指導やお年寄りの方とのふれあいをとおして、生徒に活躍してほしい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「変化の激しい時代を生き抜く力を育むために」をテーマとする研究を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳や体験活動を含めた全教科・領域を研究対象として、学んだことを主体的に活用し、応用・発展していけるような授業展開や教材開発について、全教員による校内研究会等を通して研究と修養に努め、その結果、研究風土は醸成された。2度の校内研修会と県立三田祥雲館高等学校との交流はその成果といえる。保護者へ、文化祭「合唱コンクール」を「YouTube」により配信できたことにより、保護者の大きな信頼を得ることができたことは嬉しい事実である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度から2年間、三田市特別指定研究（中学校「情報」）に取り組む。校内研究推進体制の更なる拡充を図るとともに、大学から講師先生を招聘し、また小学校、高等学校、地域とも連携し、研究主題「変化の激しい時代を生き抜く力を育むために」を追求していきたい。</li> </ul>	
学力向上指導改善プラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学ぶ子どもの育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書、朝学習、がんばりタイム等により、確かな学力の定着が図れた。</li> <li>・「さんだっ子読書通帳」の活用により、読書活動の推進を継続することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「タブレット」を授業はもとより朝学習やがんばりタイムにも活用し主体的に学ぶ力に繋がたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生や高校生による学習支援があれば楽しく学びを進めることができるのではないだろうか。</li> <li>・「消費者教育」に課題がある。また、夏はウリ科、冬は根菜、地域の食材にふれ健康管理を行う食育が必要である。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の資質向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍のため、学期に一度、教員対象の授業公開期間を設けることや、講師を招聘した授業研究会を実施できなかったが、自主的にすべての教員が相互に授業公開を行い、授業力を高めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三田市教育委員会から特別指定を受け「情報」教育の研究を推進することにより、教職員の資質向上を図る。</li> </ul>	

※ 行は、適宜加除願います。